

第2期都筑区地域福祉保健計画※1を推進する地域の取組や、
関連情報を紹介する計画情報紙です。
第5号は「ボランティア活動」特集!!

第5号

つづき あい 通信



～「ボランティア活動」特集～

現在、地域の自治会・町内会活動や福祉保健活動については、活動者の不足や固定化が課題となっています。また、高齢化が進む中、介護保険では対応が難しい日常生活でのお手伝いに対するニーズが高まっています。

都筑区では、お互いに助け合い、支え合える地域づくりを目指し、地域が主体となってボランティアグループが設立され、活動しています。また、ボランティア活動が活発に行われる風土づくりを目指して、「**あいちゃんボランティア登録制度**」※2を展開し、若い世代から高齢者まで幅広い世代が、積極的にボランティア活動に参加するきっかけづくりを進めています。

今回は、地域が主体となって活動しているボランティアグループや、地域でボランティア活動に取り組んでいる方々の取組をご紹介します。

※1、※2については、8ページに詳細を説明しています



地域主体のボランティアグループの取組

地域の困りごとは、みんなで解決します!

～佐江戸加賀原 ちょこっとボランティア～

地域で活躍するボランティアグループ

「佐江戸加賀原 ちょこっとボランティア」(愛称:ちょボラ)は、佐江戸加賀原地区の民生委員・児童委員と地区社協の発案で、地域住民からボランティアを募り結成された、地域の有償ボランティアグループです。地域の困りごとを解決しようと、平成24年4月に発足。現在は約30人のメンバーが活動しています。

主な依頼内容は、高齢者の話し相手や病院への付き添いなど。活動を通じて新たなつながりが生まれ、見守りに結びつき、地域の助け合いの輪が広がっています。利用者から喜ばれることがメンバーの最大の活力。新しいメンバーも増えており、地域に根付いたボランティアグループを目指し、これからも活動していきます。



ちょボラのメンバー。
これからも頑張っていきます!

息の長い活動を見据えた仕組みづくり

「ちょボラ」の誕生は、民生委員・児童委員の活動を通じて、高齢者の日常のちょっとした困りごとの多さを実感したことがきっかけ。「ちょボラ」の特徴は、地域の住民がボランティアとして参加することと、コーディネーター(利用希望者とボランティアのマッチングをする人)をグループメンバーが行っていることです。

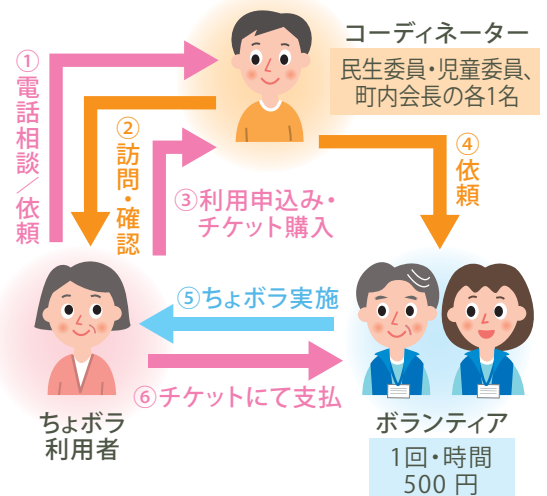
自立した団体を目指し、すでに活動している他区の有償ボランティア団体を見学し、現在の仕組みづくりの参考にしました。ほかに、立ち上げ時に区社協や地域ケアプラザに相談したり、平成24年度は「つづき あい基金」助成金※を利用するなど、身近な支援を積極的に活用しています。今後は「ちょボラ」を地域にもっと浸透させ、着実に活動を進めていくことが目標です。

目指すのは、「信頼されるボランティア」

「ちょボラ」で大事にしているのは、顔の見える関係づくりとボランティアの研修です。毎月の定例会は、メンバー同士でその月の振り返りをするほか、利用者からの意見や提案を受けて、よりよいサービスを提供するための話し合いの場となっています。メンバー同士が顔を合わせることで、交流が深まり、お互いの信頼関係が築かれていきます。

さらに、定例会のほかに隔月で勉強会を実施。これまでに地域ケアプラザの職員を講師に、車いすの操作方法の実習や、認知症の理解や高齢者への接し方についての講義を受けました。「信頼されるボランティア」を目指し、メンバー全員でスキルアップに努めています。

「ちょボラ」利用の流れ



定例会では活発に意見交換。メンバー同士の疑問の解決の場にもなっています。

※「つづき あい基金」助成金については、7ページをご覧ください。

学校ぐるみの中学生の取組

私たち中学生が地域でできる活動

——— 若いパワーを地域に生かす! 地域が子どもを育てる! ———

あいちゃんボランティアに登録している早淵中学校生徒の活動を紹介します。

被災者支援に取り組む生徒会



東日本大震災後、募金活動を1回実施。しかし、「支援を1回だけで終わらせてはいけない。継続した支援が必要だ」と考え、毎月11日を「被災者支援の日」として募金活動を続けています。また、その他の活動として、生徒会本部が古本を集めようと全校生徒に呼びかけたところ、373冊を集めることができ、「BOOK FOR JAPAN」を通して、岩手県陸前高田市に寄附をしました。

地域に出て活動している生活福祉委員会



委員に「なぜ、生活福祉委員会に入ったの?」と質問したところ、「人の役に立つことができるから」「他の委員会活動は学校のことだけだが、地域の支援ができるのは生活福祉委員会だけだから」と答えてくれました。そして、みんな口をそろえて「ボランティア活動は楽しい〜。これからも、ボランティア活動に取り組みたい」と、同じ感想を述べるほどボランティア活動に意欲的です。



若い人から元気もらえるだけでなく、重い荷物の運搬や高いところにあるものを取ってもらって助かっています。

かちだ地区社会福祉協議会
吉川会長



かちだ地区 ふれあい昼食会にて

手をあげてボランティア参加

早淵中学校には、ボランティアに興味や関心がある生徒たちが多くいます。地域からボランティア依頼が来た時は、自らボランティア活動を希望して参加。今後、生徒たちは、地域の強力な担い手になっていくでしょう。

中学生も地域の
一員。地域のつ
ながりをもつた
ために、早淵中
学校に声をかけ
ました。



仲町台中央町内会 折戸会長
仲町台商業振興会 渡辺会長



10月 仲町台中央町内会 ハロウィンパーティーでのボランティアの活動の様子

校長先生より

開校して3年、土台となる「伝統」を一丸となって確かなものにつつつある早淵中学校では、地域とともに歩む学校づくり(教育活動)を目指して、『学び合い 認め合い 高め合う』子どもたちの意欲にあふれています。地域の一人としての生徒、地域に見守られている生徒という思いを育みながら、子どもたちが積極的にボランティアとして地域活動に参加し、笑顔で取り組む姿からは、お互いのつながり(絆)の大切さと生徒自らの成長が感じられます。

地域ケアプラザと連携したボランティア団体の取組

ボランティア活動を後押しする 地域ケアプラザ。活動を広げ深めます。

「つづき あい基金」
助成金も活用!

制度やサービスのすき間をきめ細かくサポート **ほほえみの会 & 葛が谷地域ケアプラザ**

ボランティア入門講座がきっかけ

「ほほえみの会」は、葛が谷地域ケアプラザが行っているボランティア入門講座の受講者有志を中心に発足した有償ボランティア団体です。困っている人のニーズと公的なサービスとの間を、ボランティアの力で埋めようと活動に取り組んでいます。ケアマネジャーやヘルパーが感じる、「もう少しこうできるといいんだけど…」という もう一步の支援に、ほほえみの会の力が発揮されています。

活動事例

<高齢者への支援>

- ・病院への付き添い
- ・薬局での薬の受取
- ・電球の交換

<障害者への支援>

- ・施設に通う子の自宅からバス停までの付き添い
- ・自宅から地域作業所までの通所の付き添い

<子ども・子育て中の人への支援>

- ・プレイパークなどでの子どもの見守り

高齢者世帯の家具の移動をお手伝い。暮らしの変化に合ったレイアウトになりました。



活動をより多くの人に生かしてもらうために

困ったときに「手伝ってほしい」と声を出すには勇気が必要です。そこで、ほほえみの会では「つづき あい基金」助成金を活用してPRちらしを作成し、ケアマネジャーや民生委員・児童委員など、支援を必要とする人に直接関わる人にPRしました。今後は、介護保険事業者の会合でPRするなど、地域ケアプラザとの連携を生かして、より多くの人のお手伝いをしたいと考えています。

ちらしを回覧板でPRしました▶

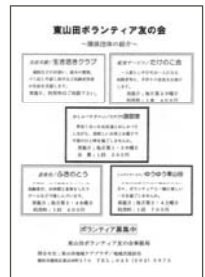


団体の交流とボランティアの担い手の拡大 **東山田ボランティア友の会 & 東山田地域ケアプラザ**

団体同士の横のつながりづくり

東山田地域ケアプラザを拠点に活動するボランティア団体は多くありますが、イベントなどで顔を合わせることはあっても、それぞれの活動内容はお互いによく知りませんでした。「勉強会などで集まったら、交流や親睦が図れるのでは」という声をきっかけに発足したのが「東山田ボランティア友の会」です。

各団体の活動をちらしで紹介▶



各団体の活動を充実させる「ボランティア友の会」

「東山田ボランティア友の会」の核となっているのは、東山田地域ケアプラザで活動する5つのボランティア団体です。各団体から実行委員を出し、研修や交流を企画しています。

研修会の開催には「つづき あい基金」助成金を活用しました。食品衛生や救命救急、障害者理解、ボランティア活動のための傾聴など、各団体の活動に役立つテーマを設定し、毎回、講師を招いて学んでいます。

また、バス旅行などの催しを行い、親睦を深めています。

今後、より多くの人に参加してもらおうと、落語や寄席の催しを開くなど、会のPRにも取り組んでいます。



* 和菓子の作り方を学びました。会食会や配食のお弁当作りに生かしています。*

* 川越までバス旅行。親睦を深めました。*



健康づくりボランティアの取組

私たちは地域のみなさんの健康づくりをサポートします！

■保健活動推進員とは？

保健活動推進員は、地域の健康づくりサポーターとして、各自治会・町内会からの推薦により委嘱された方々です。都筑区では13の地区、約200人の推進員が地域の皆さんの健康づくりをすすめています。各地区では、健康の啓発（体操、ヘルスチェック、たばこの害の啓発など）、子育て支援、高齢者支援などを行っています。また、区民まつりやつづきウォーク&フェスタなどにも参加して、健康づくりをPRしています。

地域での活動

例えば

MGC元気ウォーキング

茅ヶ崎南MGC地区では、夏休みのラジオ体操終了後に子どもから大人まで家族ぐるみで参加できる「元気ウォーキング」を実施しています。ゴール地点ではお楽しみくじ引き会と健康チェックを行い、楽しみながら健康の向上を目指します。

地区で活動をすすめるために、まずは保健活動推進員の存在と活動内容を知ってもらうことを心がけました。そして、「各団体が単独で活動するよりも、団体同士が一体感を持って活動していきたい」と、会長の鈴木さんが語るように、活動を行う際には連合自治会の定例会で周知をし、また、地区社協とお互いの行事に協力し合うなど、地区内の他の団体との連携を大切にしています。

今後も、住民の健康の向上と顔の見える関係づくりを目指して、子ども、高齢者など様々な年代を対象とした活動を行います。新しく、ポールウォーキングなどを取り入れることも検討しています。

元気ウォーキングは今年で3回目。今年はいっしょに鴨池公園を一周しました！



■食生活等改善推進員（愛称：ヘルスマイト）とは？

「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、栄養・運動・休養の調和の取れた健康づくりを地域に普及するためのボランティア活動を行っています。福祉保健センターで開催する養成講座を受講し、所定の課程を修了するとヘルスマイトになることができます。都筑区では現在約70人の会員が、妊婦向け料理教室、メタボ予防教室など、地域でのふれあいを深めながら活動しています。また、つづきヘルスアップフェアやピンクリボンフェスタなどにも参加して、食事の大切さを伝えています。

地域での活動

例えば

おやこの食育教室

10月に荏田南・渋沢地区の活動として荏田東第一小学校の協力で「おやこの食育教室」を開催しました。これは「料理の楽しさ」を親子で体験することで、食事の大切さを自覚し、適切な食習慣を身につけるきっかけとなるように、毎年区内の小学校で行われているものです。

参加した子どもたちと保護者からは、「炒めたトマトは初めて見た!」「家でお父さんに作ってあげよう」といった声があがりました。

ヘルスマイト自身も、こういった活動が自分や家族の健康を気づかい、人と知り合うきっかけになったと言います。

今後は、もっとヘルスマイトの活動を知ってもらえるようにPRし、地元の自治会・町内会とも連携して身近なところから活動を広めていくことが目標です。

子どもたちへ料理のアドバイスをします。「包丁を持たない方の手は、猫の手だよ〜!」



区内のボランティア登録・相談窓口をご紹介します!

「みんなで助け合うまち」を目指す都筑区には、様々なボランティア登録・相談窓口があります。あなたに合う形で、気軽にボランティア活動を始めてみませんか?まずはお気軽にご相談ください。

気軽に「ボランティア」への第一歩 あいちゃんボランティア

ボランティアは難しいものではありません。地域のため、人のためになることがすべて、ボランティア活動の始まりです。

「ボランティア活動を始めてみたい」という方は、ぜひ「あいちゃんボランティア」にご登録ください。ボランティア活動の対象は、福祉保健分野に限られません。また、ご登録いただくと、活動を区のホームページで紹介したり、ボランティアに関する相談をお受けしたり等のサポートもいたします。

【お問合せ】

福祉保健課運営調整係

TEL 045-948-2341 FAX 045-948-2354

＜あいちゃんボランティア登録受付窓口＞

- ・都筑区役所福祉保健課
運営調整係(2階21番窓口)
- ・都筑区社会福祉協議会
- ・区内各地域ケアプラザ

詳しくは、
8ページをご覧ください。



福祉ボランティアを応援 都筑区社会福祉協議会ボランティアセンター

高齢者や障がい児・者を支援するボランティアなど、住みよいまちづくりのため活動する福祉ボランティアを中心に登録を受け付けています。

ボランティアを必要としている人や団体とボランティア活動をしたい人をつなげたり、登録者には、情報紙「ボランティアどっと来い!都筑」の発行などの情報提供を行っています。

あなたの力を必要としている人がいます。あなたの貴重な時間を少し分けてください。

まずはボランティアセンターまでご連絡、ご相談ください。

【お問合せ】

都筑区社会福祉協議会

TEL 045-943-4058 FAX 045-943-1863

e-mail : volunteer@tuzuki-shakyo.jp

＜都筑区社協ボランティアセンター＞

【場所】福祉保健活動拠点
「かけはし都筑」内

【開館時間】9:00～17:00
(月曜日～日曜日)

【閉館日】年末年始、施設点検日

ボランティア
コーディネーターが
お待ちしております!
お気軽にお越しください。

あなたと街のかけはしになります



都筑区社協
キャラクター
ゆいピー

あなたの特技を地域で活かしませんか 都筑区民活動センターの人材バンク制度

「人材バンク制度」とは、ボランティアとして特技を活かしたい方々に登録していただき、地域からの依頼に応じて登録者の中から紹介する制度です。マジック、ダンス、弾き語りなど、約150名の「特技」をお持ちの方々が現在登録しています。

主に自治会・町内会や地域の福祉施設から、イベントのための依頼があり、大変好評いただいております。

登録をご希望の方は、都筑区民活動センターへご相談ください。

【お問合せ】

都筑区民活動センター

TEL 045-948-2237 FAX 045-943-1349

人材バンク制度以外にも、
区内の様々な情報提供や、相談員による
市民活動に関する相談なども行っています。
お気軽にどうぞ!

＜都筑区民活動センター＞

【場所】都筑区役所1階

【開館時間】8:45～17:00

【閉館日】毎月第3日曜日・年末年始



お知らせ

♪ つづき あいフォーラムを 開催します! ♪

第2期都筑区地域福祉保健計画や都筑区こども・青少年育成計画を推進する3地区の取組発表と各地区やグループの取組についてのパネル展を行います。ぜひ、お越しください!

【日時】平成25年2月9日(土)
午後1時30分～午後3時30分
(受付:午後1時～)

【会場】都筑公会堂

【対象者】一般区民(300人)

【内容】[予定]創作落語、活動報告・
パネルディスカッション、小学校児童による合唱

※パネル展は、2月5日(火)午後1時～2月12日(火)正午に、区役所1階区民ホールで行います。

【お問合せ】

福祉保健課事業企画係

TEL 045-948-2344 FAX 045-948-2354



夏休みの小さな ボランティアに「ありがとう」 ～あいボラキッズ「ありがとう会」～

10月19日に北山田小学校で、「あいボラキッズありがとう会」が開催されました。

あいボラキッズとは、「あいちゃんボランティア」の活動を子どもたちに広めようと、小学校4年生以下の子どもたちを対象に、夏休み中の「みんなのためになる活動」を「あいボラキッズカード」に記録してもらうというものです。

ありがとう会では、区長が「ボランティア活動を続ければ、都筑区全体が助け合えるまちになります」と活動してくれた子どもたちを称え、感謝の品としてあいちゃんのイラストが入ったクリアファイルをお渡ししました。

【お問合せ】

福祉保健課運営調整係

TEL 045-948-2341 FAX 045-948-2354



第13回 都筑区チャリティーゴルフ大会から 「つづき あい基金」に、寄附をいただきました!

都筑区ゆかりの個人・団体・企業が参加された「第13回 都筑区チャリティーゴルフ大会」が、8月23日に開催されました。大会での収益金75万円を、同大会実行委員会より区社会福祉協議会善意銀行に寄附していただきました。都筑区地域福祉保健計画を推進するため、「つづき あい基金」助成金などに活用させていただきます。ありがとうございました。



～「つづき あい基金」助成金をご活用ください～

都筑区地域福祉保健計画の推進の一環として、計画の「目標」と取組の「方向性」に合致し、地域の福祉保健に関する課題の解決に向けた活動や、「新たな取組」「活動の拡充」など、更なる一歩を踏み出す活動を応援する助成制度「つづき あい基金」助成金があります。

平成25年度の募集は、平成25年4月を予定しています。詳しくは、都筑区社協までお問合せください。

【お問合せ】

都筑区社会福祉協議会 TEL 045-943-4058 FAX 045-943-1863



※1

第2期都筑区地域福祉保健計画とは？

都筑区地域福祉保健計画は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができることを目指しています。

区民、地域、団体、企業と都筑区役所等が、地域課題に対してともに取り組み、**人と人との「であい ささえあい わちあい」**の仕組みをつくり、行動していくための計画です。

平成18年に策定された第1期都筑区地域福祉保健計画(5か年計画)に引き続き、第2期都筑区地域福祉保健計画(平成23～27年度)を策定し、推進しています。

基本理念

人と人との「であい ささえあい わちあい」

構成

連合町内会自治会エリアごとに地域の行動目標を定めた「地区別計画」とともに、都筑区役所・区社会福祉協議会の行動計画、地域ケアプラザの行動計画で構成されています。

「第2期都筑区地域福祉保健計画」の取組の方向性

上記の**3つの重点課題**に応じた、**3つの方向性**に基づいた取組を進めていきます。

方向性1

**顔の見える
地域づくりを
進めます**

地域での「つながり」を大切に
して、地域住民をはじめ、地域の様々
な主体が、連携・協働し、地域課題
の解決に取り組んでいけるよう顔
の見える地域づくりを進めます。

方向性2

**幅広い区民参加で
活動や取組の
輪を広げます**

地域の課題解決に向けた主体
的な取組を区全体に広げていくと
ともに、ボランティアニーズへ対応
していけるよう、幅広い区民参加に
より、活動の輪を広げます。

方向性3

**必要な人に支援が
届く仕組みづくりや
取組を進めます**

支援が必要な人の把握や、情報
提供のあり方等について検討を行
い、誰もが支援を受けられるよう
な仕組みづくりや取組を進めます。

※2

あいちゃんボランティア登録制度とは？

ボランティア活動が活発に行われる風土づくりを目指し、平成22年からスタートした制度です。ご登録いただいた方々に様々なボランティア活動についての情報を提供するとともに、日ごろからボランティア活動に取り組まれている方々をご紹介しますことで、その活動の輪を広げていくことを目指しています。現在、約2,400名もの方々にご登録いただいています。

また、多くの店舗や事業者の皆さんからの協賛をいただき、登録者への優待利用特典で、活動を応援していただいています。

登録できる人は？

- ・都筑区内に在住、在勤、在学の小学校5年生以上の人。個人、団体のいずれも登録可。
- ・区内ですでにボランティア活動を行っている、または今後区内でボランティア活動をやりたい人。

登録できる分野は？

- ・福祉・保健分野、地域活動、環境美化、まちづくり、国際交流等あらゆる分野のボランティア活動が対象です。

あいちゃんボランティアに登録すると？

- ・ボランティア活動に関する情報をご提供します！
- ・皆様の日ごろのボランティア活動をご紹介します！
- ・「あいちゃんボランティアカード」を区内約160の協賛店舗で提示すると、各種優待サービスが受けられます！



皆さまのご登録をお待ちしています！

【お問合せ】 福祉保健課運営調整係 TEL045-948-2341 FAX045-948-2354

あいちゃんボランティアカード